



不登校につながるサインは・・・

新年度が始まり、間もなく3か月。新しい学級や環境に慣れると同時に人間関係や勉強、部活動など悩みやストレスも溜まっていく時期です。他人の目が気になったり、我慢したりと多感な中学生の中には学校に来ることがつらくなる人もいます。

不登校につながるサインについて、大仙市子ども若者相談センター「びおら」の資料から紹介します。

小学生の場合、「学校に行きたくない」と正直に話してくれますが、中学生はなかなかそうはいきません。なぜかという**「苦しさを抱えていても、親に知られないようにする」**からです。思春期になると**「自分のことを親に知られたくない」**という心理が働き、「自分の弱さ」は特に隠そうとします。そうになってしまうと、登校する苦しさを抱えて我慢してしまい、限界に達した時には、体も心も疲れ、登校できる気力が全く残っていないという状態になることがあります。

子どもが次のようなサインを出したら注意が必要です。

～不登校につながるサイン～

- ①「疲れた、疲れた」と言う。
- ②「なかなか寝付けない」「途中で目が覚める」
- ③ 頭痛や腹痛を感じる。

これ以外にも「イライラする」「落ち込む」「強い不安や恐れを感じる」「無気力になる」「激しい動悸がする」「食欲がなくなる」などの症状も危険なサインです。

「不登校につながるサイン」を感じたらどうするか？

→ 「本人と話をして何がつかいかを聞く」こと。

なかなか話してくれないかもしれませんが、聞いたすような態度ではなく、本人の言い分をそのまま受け止める姿勢で聞くと話してくれると思います。

→ 次に、先生をはじめ、SCや専門機関に相談してみましよう。

不登校になってからでは対応が遅すぎます。不登校になる前から本人の苦しさは始まっているのです。「危険なサイン」を感じたら、まずは相談です。

学校でも家庭でも子どもが発するサインを見逃さず、早めに対応できるようにしていければと思います。ご家庭で気になることがある場合は遠慮なく学校までご相談いただきたいと思います。

情報モラル教室開催(2年)

20日(火)の午後、南教育事務所の教育主事を講師にお招きし、2年生の情報モラル教室を開催しました。

SNSを使用する際の問題点や注意すべき点などについて、実際の事例等を示していただきながらお話いただきました。SNSの使い方によっては、法に触れ、処罰されたり、多額の賠償金を請求されたりすることもあるということをお話いただき、簡単に操作できる反面、使い方には十分な知識とマナーが必要であることを学ぶことができました。講話の途中で角中生どうして問題点について話し合う場面もあり、2年生も主体的に参加できた大変な時間となりました。



1年生 田沢湖についての事前学習会

来月11日に田沢湖で行う校外学習の一環として、「田沢湖ざっくばらんの会」の方を講師にお迎えし、田沢湖についての講話をしていただきました。田沢湖の形状や白浜の鳴砂など沢山のCG画像とともに分かりやすく説明していただき、1年生の皆さんも田沢湖について理解が深まりました。今日の事前学習を基に来月の白浜のクリーンアップを頑張ってくれることと思います。



先日2年生が行った「脱プラ農業田植え作業」の様子が、今週25日(日)の朝8時57分頃からAKT(秋田テレビ)で放映する「海と日本プロジェクト」のコーナーで紹介されるそうです。

2年生の頑張っている様子を是非ご覧いただきたいと思っています。



○ 今週に入り、体調不良による欠席が1、2年生に多く見られました。これから気温も上昇し、蒸し暑くなる時期です。ご家庭でもお子さんの体調管理に十分な配慮をお願いいたします。